

3 指導計画（全15時間 本時は11/15時間目）

学習活動	学習内容	評価と支援（ 評価規準 支援）						
<p>1 オリエンテーション 1時間 試しの演技</p>	<p>15時間の学習計画と学習の進め方を知る 全員がクリアすべき技を知り、現時点での自分の力を知る ・マット・・・前転、後転、倒立、とび前転、側方倒立回転（側転） ・跳び箱・・・開脚とび、台上前転、ヘッドスプリング</p>	<p>学ぶ態度 自分の力に合った計画を立て、積極的に教えあつて学習を進める うまくできなかった技を解決するために、具体的な練習方法を示し、目標を具体的にもつようにする。</p>	<p>思考・判断 友だちのアドバイスも参考にして自分の動きを感じ取り、動きを高める 技を行うときに身体のどこを意識するのかを具体的に示し、動きの感じをとらえるようにする。</p>	<p>技 能 クリアすべき技ができるようになる 補助具などを用いて、技の部分的な練習を示し、部分的な感覚を養った後に技全体へと取り組むようにする。</p>				
<p>2 単技（個人技）の練習 6時間 10人(9人)のグループを作り学習を進める。 個々の技を増やしレベルを高める練習を行う。</p>	<p>学習課題 子どもの意識と身体と対話する力の現われ</p> <table border="1" data-bbox="570 421 1704 826"> <tr> <td data-bbox="570 421 1127 826"> <p>跳ぶ マット ・1度空中に全身を浮かせてとび前転をしよう 跳び箱 ・腰が肩より上がるように開脚とびをする ・着手から着地までの感じを補助の場などを用いて身につけよう ・ひざをきれいにそろえて、伸ばしてはねてみよう。 ・足全体を遠くに跳ばし、マットにたたきつけるつもりではねてみよう</p> </td> <td data-bbox="1127 421 1704 826"> <p>回る マット ・足を振り下ろして上体を起こして側転をしよう 跳び箱 ・ふりこのように足を振り下ろして、上体を起こしてはねてみよう ・前転や後転するときにはきれいにひざを伸ばそう ・ヘッドスプリングでは腰で大きな半円を描くようにはねてみよう ・台上前転でスムーズに回れるように腰が上がる踏み切りをしよう</p> </td> </tr> </table>	<p>跳ぶ マット ・1度空中に全身を浮かせてとび前転をしよう 跳び箱 ・腰が肩より上がるように開脚とびをする ・着手から着地までの感じを補助の場などを用いて身につけよう ・ひざをきれいにそろえて、伸ばしてはねてみよう。 ・足全体を遠くに跳ばし、マットにたたきつけるつもりではねてみよう</p>	<p>回る マット ・足を振り下ろして上体を起こして側転をしよう 跳び箱 ・ふりこのように足を振り下ろして、上体を起こしてはねてみよう ・前転や後転するときにはきれいにひざを伸ばそう ・ヘッドスプリングでは腰で大きな半円を描くようにはねてみよう ・台上前転でスムーズに回れるように腰が上がる踏み切りをしよう</p>	<p>目標と自分の現状を照らし合わせ、具体的な目標をもち、今後の学習に取り組もうとしている。 映像等の資料を用意する。</p>	<p>集団での動きのイメージをもって、動きをよりよくする 映像を示し、自分の動きの感覚とすり合わせながら、どこがうまくいかなかったのかを話し合い、手立てを導いていく。</p>	<p>友だちと息を合わせて美しく技を行うことができる。 個別の技を練習する場を設け、技の完成度を高めるようにする。</p>		
<p>跳ぶ マット ・1度空中に全身を浮かせてとび前転をしよう 跳び箱 ・腰が肩より上がるように開脚とびをする ・着手から着地までの感じを補助の場などを用いて身につけよう ・ひざをきれいにそろえて、伸ばしてはねてみよう。 ・足全体を遠くに跳ばし、マットにたたきつけるつもりではねてみよう</p>	<p>回る マット ・足を振り下ろして上体を起こして側転をしよう 跳び箱 ・ふりこのように足を振り下ろして、上体を起こしてはねてみよう ・前転や後転するときにはきれいにひざを伸ばそう ・ヘッドスプリングでは腰で大きな半円を描くようにはねてみよう ・台上前転でスムーズに回れるように腰が上がる踏み切りをしよう</p>							
<p>3 中間発表会 1時間 個人の技を発表し評価し合う。事実をもとに学習内容をふりかえるとともに、今後の課題をもつ。</p>	<p>クリアすべき技を発表し評価し合う。 事実をもとにグループメンバーの状況を話し合う。 現在の自分（たち）の達成状況を知り、次にめざす判断（思考・判断）や動き（技能）をはっきりもつことができるようにする。</p>	<p>目標と自分の現状を照らし合わせ、具体的な目標をもち、今後の学習に取り組もうとしている。 映像等の資料を用意する。</p>	<p>集団での動きのイメージをもって、動きをよりよくする 映像を示し、自分の動きの感覚とすり合わせながら、どこがうまくいかなかったのかを話し合い、手立てを導いていく。</p>	<p>友だちと息を合わせて美しく技を行うことができる。 個別の技を練習する場を設け、技の完成度を高めるようにする。</p>				
<p>4 集団演技の練習 6時間 単技（個人技）の練習でできるようになった技をつかって集団での器械運動の演技を作る。 本時</p>	<p>学習課題 子どもの意識と身体と対話する力の現われ</p> <table border="1" data-bbox="570 1161 1704 1541"> <tr> <td data-bbox="570 1161 853 1541"> <p>見せる ・グループ全員でそろえて回ったり、方向を変えたり、タイミングをずらす工夫をしよう ・手の先、足の先まで集中して美しく、カッコいい演技にしよう。 ・少しでもレベルの高い演技をしよう</p> </td> <td data-bbox="853 1161 1136 1541"> <p>合わせる ・グループ全員のリズムをそろえよう ・回るスピードをそろえるために仲間の動きを強く意識しよう ・仲間との「いき」をそろえるためにお互いの身体を感じたり意識したりすることが大切だ</p> </td> <td data-bbox="1136 1161 1418 1541"> <p>跳ぶ マット ・おなかでボールをかかえこむように大きく丸くとび前転をしよう 跳び箱 ・着地までのイメージをもって安定して確実に跳びこせるようにしよう。</p> </td> <td data-bbox="1418 1161 1704 1541"> <p>回る マット ・自分の呼吸と仲間の呼吸を合わせよう ・ゆっくり大きく前転・後転をしよう 跳び箱 ・一人一人の動きが見せるに値するものにしていこう。</p> </td> </tr> </table>	<p>見せる ・グループ全員でそろえて回ったり、方向を変えたり、タイミングをずらす工夫をしよう ・手の先、足の先まで集中して美しく、カッコいい演技にしよう。 ・少しでもレベルの高い演技をしよう</p>	<p>合わせる ・グループ全員のリズムをそろえよう ・回るスピードをそろえるために仲間の動きを強く意識しよう ・仲間との「いき」をそろえるためにお互いの身体を感じたり意識したりすることが大切だ</p>	<p>跳ぶ マット ・おなかでボールをかかえこむように大きく丸くとび前転をしよう 跳び箱 ・着地までのイメージをもって安定して確実に跳びこせるようにしよう。</p>	<p>回る マット ・自分の呼吸と仲間の呼吸を合わせよう ・ゆっくり大きく前転・後転をしよう 跳び箱 ・一人一人の動きが見せるに値するものにしていこう。</p>	<p>学習を通しての具体的事実を振り返り、学習の成果や自分の成長を感じようとしている。 映像等の資料を用意する</p>	<p>集団での動きのイメージをもって、動きをよりよくする 映像を示し、自分の動きの感覚とすり合わせながら、どこがうまくいかなかったのかを話し合い、手立てを導いていく。</p>	<p>友だちと息を合わせて美しく技を行うことができる。 個別の技を練習する場を設け、技の完成度を高めるようにする。</p>
<p>見せる ・グループ全員でそろえて回ったり、方向を変えたり、タイミングをずらす工夫をしよう ・手の先、足の先まで集中して美しく、カッコいい演技にしよう。 ・少しでもレベルの高い演技をしよう</p>	<p>合わせる ・グループ全員のリズムをそろえよう ・回るスピードをそろえるために仲間の動きを強く意識しよう ・仲間との「いき」をそろえるためにお互いの身体を感じたり意識したりすることが大切だ</p>	<p>跳ぶ マット ・おなかでボールをかかえこむように大きく丸くとび前転をしよう 跳び箱 ・着地までのイメージをもって安定して確実に跳びこせるようにしよう。</p>	<p>回る マット ・自分の呼吸と仲間の呼吸を合わせよう ・ゆっくり大きく前転・後転をしよう 跳び箱 ・一人一人の動きが見せるに値するものにしていこう。</p>					
<p>5 最終発表会 1時間 集団演技を発表し評価し合う。事実をもとに学習内容をふりかえる。</p>	<p>集団演技を評価し合う。 事実をもとにグループで学習の達成状況を話し合う。 自分がどのレベルに到達したのかについて、動きや考えたことなどの具体的事実を根拠として記述し、学習記録を作成する。 学習記録をもとに、グループ内で発表会を行う。聞く側は、発表者が出す以外の事実をあげて支持したり、反論したりする。より正確な学習成果の把握を第一とする。</p>	<p>学習を通しての具体的事実を振り返り、学習の成果や自分の成長を感じようとしている。 映像等の資料を用意する</p>	<p>集団での動きのイメージをもって、動きをよりよくする 映像を示し、自分の動きの感覚とすり合わせながら、どこがうまくいかなかったのかを話し合い、手立てを導いていく。</p>	<p>友だちと息を合わせて美しく技を行うことができる。 個別の技を練習する場を設け、技の完成度を高めるようにする。</p>				